

『教皇フランシスコのご訪問』

新年あけてすぐ、ローマの修道会本部に嬉しい出来事がありました。教皇フランシスコが本部を訪問して下さったのです。ローマ滞在中の理事長シスター塩谷のその時の手記には、大きな恵みをいただいたことに喜びを隠せない感動が表されています。その一部をご紹介します。



新年おめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

こちら、ローマでは素晴らしい新年を迎えました。思いがけないことに、教皇フランシスコがローマのヴェインテ・セッテンプレの修道院を訪ねてくださり、聖ラファエラ・マリアの前で一緒に祈り、2時間も私たちの質問に答えたり、個人的にシスターたちと話したり、祝福してくださいました。

教皇様は到着後すぐに、聖ラファエラ・マリアの祭壇のところに行き、差し出された椅子に腰かけて静かに祈り始められました。祈っておられる後ろ姿と沈黙は皆を引き込み、聖堂は沈黙に包まれました。私は教皇様の後ろ姿から熱い思いが伝わってくるのを感じ、涙が溢れそうになりました。



聖心侍女修道会にとって大きな喜びで、今、世界中のシスターズにこの訪問の喜びを分かち合っているところです。私も日本の教会に、修道会に教皇様が期待されていることについて、直接質問することができました。教皇フランシスコからは、日本人には「知的文化的水準」と「親しみ」(cercania)を大事に福音宣教を、というお言葉をいただきました。そしてそれは日本が世界の教会に貢献することではないかと。安倍首相からキリシタン遺物の鏡を贈られたことにも言及し、キリシタンの信仰の遺産も素晴らしいと話されました。教皇フランシスコからいただいた言葉は深く心に刻まれました。

教皇様は聖ラファエラ・マリアをこころから尊敬し、ご自分が危機的な状況にあって苦しかった時にラファエラ・マリアから助けられたという思いがあるとのこと、そのためにラファエラが過ごした場所を訪問し、シスターズと会話をしたいためにいらしてくださったことが分かり、感激しました。

ラファエラ・マリアの寝室に備えられている訪問者の記帳に、教皇様は次のように書かれました。「あなたの模範によって私にしてくださったすべての善を、聖ラファエラ・マリアに感謝するためにここに参りました。あなたの伝記は(何回も)困難のときを生きぬくよう、私を助けて下さいました。有難うございます！フランシスコ」。

理事長 シスター塩谷 (一部は総長シスター深沢)

